

第 1 表 1 9 0 7 年中の鉱山関係労働争議一覧

月 日	鉱 山 名	府 県	職 種	参加人数	形 態	主 要 求	出 典	備 考
1. 19	鵠鉱山	秋 田	坑夫	700	スト	賃上げ，強制貯金反対	『本邦鉱業の趨勢』	事務所破壊
2. 4	足尾銅山	栃 木	坑夫	2000	暴動	賃上げ他	『平民新聞』1. 29, 31，本書	
2. 6	三池炭鉱	福 岡	坑夫		スト	賃上げ	『大阪毎日』9. 6	誤り
2. 6	生野鉱山	兵 庫	坑夫	500余	スト	賃上げ	『平民新聞』3. 6	
2.15	遊泉寺銅山	石 川	鉱夫		スト	賃上げ，積立貯金制廃止	『平民新聞』2. 24	
2.16	福井炭鉱	長 崎	坑夫	300余	スト	賃上げ，積立金払い戻し	『平民新聞』2. 26	日付は推定
2.21	高根鉱山	岐 阜	坑夫	1000余	不穩	賃上げ	『平民新聞』2. 26，『大阪朝日』2. 24	
2.23	夕張炭鉱	北海道			スト	賃上げ	『北炭五十年史資料』	
2.24	槇峰銅山	宮 崎	電気工	30	スト	賃上げ	『大阪朝日』3. 5	電気部坑夫とするものあり
3. 1	生野鉱山	兵 庫			スト	賃上げ	『平民新聞』4. 13	
3. 2	夕張炭鉱	北海道	運搬夫	700	スト	賃上げ	『平民新聞』3. 9	
3. 6	幾春別炭鉱	北海道	坑夫	500余	スト	賃上げ	『本邦鉱業の趨勢』『日本史研究』114号	
3. 8	大谷石採石場	栃 木	石工	600余	スト計画	賃上げ	『大阪朝日』3. 9	
3.10	東山石油坑	新 潟	坑夫	400	要求	賃上げ	『平民新聞』3.14	宝田石油
3.22	幌内炭鉱	北海道			要求	賃上げ	『幌内炭山暴動始末』	要求全部拒否
3.26	姥沢鉱山	福 島	鉱夫	50	事務所破壊	賃上げ	『平民新聞』4. 2	出典には姥沢鉱山とあるを訂正
3.下	鍋山石灰山	栃 木	工夫		スト	賃上げ	『平民新聞』4. 6	
4.26	槇峰銅山	宮 崎	坑夫	170	スト	賃上げ	『本邦鉱業の趨勢』『大阪朝日』4. 27	この日に解決
4.28	幌内炭鉱	北海道	坑夫	300	スト・暴動	賃上げ	『幌内炭山暴動始末』	スト参加人員1700人？
5. 1	夕張炭鉱	北海道	運搬夫	45	スト	賃上げ他	『本邦鉱業の趨勢』『日本史研究』114号	
5. 3	歌志内炭鉱	北海道			不穩	賃上げ	『大阪朝日』5. 8	
5. 3	神威炭鉱	北海道			不穩	賃上げ	『大阪朝日』5. 8	
5. 3	文殊炭鉱	北海道			不穩	賃上げ	『大阪朝日』5. 8	
5. 9	塩待鉱山	兵 庫	坑夫	36	スト	賃上げ	『大阪朝日神戸付録』5. 12	出典には塩松鉱山とあるを訂正
5.10	飯盛鉱山	和歌山	鉱夫		派出所襲撃	逮捕者取戻し	『大阪毎日』5. 14	出典には麻生津鉱山とあるを訂正
5.-	阿仁銅山	秋 田		300	スト		『本邦鉱業の趨勢』『日本史研究』114号	
6. 2	別子銅山	愛 媛	鉱夫	1000	暴動	賃上げ	『日本労働運動史料』第2巻	
6. 8	虻川鉱山	秋 田	坑夫		スト	賃上げ	『社会新聞』6. 30	
6.10	石狩硫黄山	北海道	坑夫	21	要求	賃上げ他	『社会新聞』6. 23	全員解雇
6.12	三盛硫黄山	北海道	坑夫	40余	要求	賃上げ	『本邦鉱業の趨勢』『社会新聞』6. 23	出典には三森嶽鉱山とあるを訂正
6.30	帯江鉱山	岡 山	坑夫		スト	賃上げ，米価引下げ	『東京日日』7. 3-5 『社会新聞』7. 14	
6.-	雨鱒川鉱山	北海道	坑夫	25	スト		『本邦鉱業の趨勢』	
7. 1	吹屋銅山	岡 山	坑夫	600	不穩	賃上げ	『社会新聞』7. 28	7. 11の吉岡銅山と同一？
7. 1	夕張炭鉱	北海道	坑夫	400	スト	賃上げ他	『本邦鉱業の趨勢』『日本史研究』114号	
7. 6	尾去沢鉱山	秋 田	鉱夫	50	スト	賃上げ	『本邦鉱業の趨勢』『三菱鉱業社史』P. 143	
7. 7	遊泉寺鉱山	石 川	女工	100余	スト		『社会新聞』7. 14	
7.11	西川銅山	愛 媛	負夫	16	スト	賃上げ	『本邦鉱業の趨勢』『海南新聞』7. 20	この日退山
7.11	吉岡銅山	岡 山	鉱夫	2800	スト	賃上げ	『社会新聞』7. 21	参加人員過大，在籍1000人
7.13	追分コーク製造所	北海道	職工	150	スト	賃上げ	『社会新聞』7. 21	北炭経営
7.14	生野鉱山	兵 庫	鉱夫		要求		『大阪毎日』7. 11～20	
7.14	船岡鉱山	京 都	坑夫	30余	紛擾	賃上げ	『社会新聞』7. 28	7. 16の大和谷鉱山と同一？
7.15	夕張炭鉱	北海道	坑夫	2000	スト	待遇改善	『本邦鉱業の趨勢』『日本史研究』114号	
7.16	大和谷鉱山	京 都	坑夫	40	スト	賃上げ	『本邦鉱業の趨勢』『大阪朝日』7. 19	
7.21	歌志内炭鉱	北海道	坑夫	1000	スト		『社会新聞』7. 28	
7.28	宇佐見炭山	茨 城	坑夫	38	スト	賃上げ	『本邦鉱業の趨勢』『社会新聞』8. 4	
7.-	飯盛鉱山	和歌山	坑夫		不穩		『社会新聞』7. 14	
7.-	新夕張炭鉱	北海道			スト？	賃上げ	『社会新聞』7. 14	
8.30	生野銀山	兵 庫	鉱夫	250	スト	飯米値下げ	『本邦鉱業の趨勢』『大阪朝日』9. 1～9. 4	
8.-	神路鉱山	和歌山		52	スト		『本邦鉱業の趨勢』	
8.-	佐須鉱山	長 崎		20	スト		『本邦鉱業の趨勢』	
9. 1	小坂鉱山	秋 田	製煉夫		暴動計画		『日本労務管理年誌』第一編下P. 191	
10.12	豊州炭鉱	福 岡	坑夫	900	スト		『東京朝日』10. 14	宮崎豊州炭鉱

〔備考〕1)新聞報道による鉱山名等には誤りが多く，それらは『本邦鉱業一斑』『本邦鉱業の趨勢』『日本鉱山総覧』などによって訂正した．
2)新聞紙名の後の数字は月日，いずれも1907（明治40）年．
3)『本邦鉱業の趨勢』は『明治四十年本邦鉱業の趨勢』ページ．
4)『日本史研究』114号は広川禎秀「北海道における炭鉱労働者の形成と1907年の北炭争議」．
5)『幌内炭山暴動始末』は供野外吉著，みやま書房，1975年刊．